

B07

教育情報化コーディネーターの説明として【正しいもの】をすべて選びチェックしなさい。

1. 学校の情報化の推進のために研修計画を作成したり，研修を行ったりするために，2005年から各学校に1名配属される。
2. 自分自身で考えた理想的な学習環境を実現するために，他者の意見に流されることの無い強い意思と，相手を説得し理解を得るための論理的思考力や発言力等が求められる。
3. ネットワークに関する能力はもとより，教育全般に関する広い知識と理解をもち，教育の情報化や情報教育を推進する人材である。
4. 学校の情報化を推進するために，校内の情報機器の整備や研修を実施する人材である。
5. 校務についても十分に理解し，校務の情報化についてもアドバイスできる能力を必要とする。

回答

3, 5

解説

これは絶対に間違えてはいけない問題です。

教育情報化コーディネーターは，教育の情報化の支援体制を整備する目的で作られた資格です。

学校現場や教育委員会，担当企業などの間に立ち，意見の調整や「通訳」を担当するとされています。そのため，特にネットワークを中心とした情報技術と，学校現場で行われる教育活動全般に関する知識が必要とされます。（試験範囲を見れば一目瞭然）

教育情報化コーディネーターは教育センター単位のように，広域での活動が想定されています。また，何名雇わなければならない，といった具体的な制限はありません（逆に雇用が保証されるわけではない）。

参考

教育情報化コーディネータに求められる資質 (www.japet.or.jp/itce2003/whatis.htm)
 情報化の進展に対応した教育環境の実現に向けて (http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/002/toushin/980801c.htm) の図の一部

